



港区基本計画・芝浦港南地区版計画書

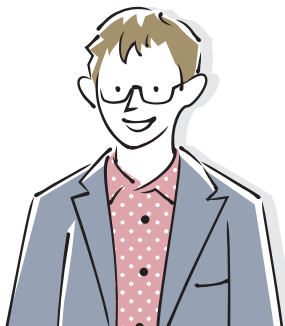
策定に向けた 提言書

令和2年3月

港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト地区版計画検討分科会

地区版計画検討分科会より

リーダー
山崎 歩



本提言書はバイエリア・パワーアッププロジェクトの分科会にて約一年にわたり有志で検討を行い生み出されました。検討の根底には私たちの住んでいる芝浦港南地区を、多様な世代が、ワクワクできるような住みやすい「まち」にしていきたいという思いがありました。その思いは今回採用した表紙にも表れております。今回の提言が少しでも住みやすい「まち」に寄与できることを願っています。

サブリーダー
金井 明



芝浦港南地区で子育てをする中、地域の支えを感じる事が多く、私も貢献したいと思い参加しました。毎回の話し合いでは、メンバーのこの地区をよくしたいという熱い思いから多様な意見が出ました。今回の提言がこれからどのような形で実現していくか期待しています。私もこの地区の未来に向けて様々な形で協力したいと思います。

サブリーダー
大本 裕一



東京五輪が開催される今、「東京」というまちは大きな節目を迎えます。そのような中で、これからは都市開発やインフラといったハードだけでなく、“人”が主体となるソフト面が大きな鍵を握っていると考えます。本提言書では、芝浦港南地区の最大の資源である「水辺」等を活用し、“人”が主体となる「まちづくり」について話し合った内容が纏められております。ここでの成果が、これからのまちのあり方に繋がっていければ幸いです。

目次

はじめに

リーダー、サブリーダーあいさつ

P01

提言一覧(15の提言)

P04

地区版計画検討分科会について

目的

P08

活動概要

P08

メンバー構成

P09

提言

かがやくまち

P12~

水辺に関すること
環境に関すること
地域の安全・安心に関すること

にぎわうまち

P18~

地域コミュニティに関すること
地域の魅力に関すること

はぐくむまち

P22~

福祉に関すること

資料編

資料1

P26~

地区版計画
検討分科会
検討資料

資料2

P32~

令和元年度 港区基本計画・
芝浦港南地区版計画に関する
区民意識調査報告書

提言にあたって

港区芝浦港南地区総合支所では、芝浦港南地区の行政計画である「港区基本計画・芝浦港南地区版計画書(以下、芝浦港南地区版計画書という)」を策定しています。芝浦港南地区版計画書は、芝浦港南地区総合支所が目指す将来像とそれを実現するための取組を体系的に示した6年間の計画で、3年目に中間の見直しを行っているものです。そして、令和2年度に芝浦港南地区版計画書を新たに策定するにあたり区民意見を取りまとめたものがこの提言書です。提言については、平成31年4月から芝浦港南地区在住者によるメンバーで構成された「地区版計画検討分科会」にて検討を重ねてまいりました。本提言書は、芝浦港南地区の地域の現状や課題、取組案等について、地区版計画検討分科会14名と下記6つのテーマで検討を行った内容を取りまとめたものです。

提言一覧

水辺に関する提言 12ページ

- ①昼夜を問わず誰もが安心して散歩することのできる運河沿いの遊歩道を実現する
- ②運河の魅力を高め、身近に感じてもらうイベントを実施する

提言理由: 芝浦港南地区は海辺や運河があり水辺環境に恵まれたまちですが、水辺に対して肯定的な印象があまり持たれていません。そのため、水辺の良さを再認識してもらうために、運河沿いの遊歩道を活用しながら、住民及び来訪者が運河を楽しみ、運河に親しみ、身近に感じてもらえるような取組を提案します。

環境に関する提言 14ページ

- ①自然を生かし、自然に触れ合える継続性のある取組を実施する
- ②地域の企業や住民などの多様な主体の参加を一層促し、美化活動を推進する

提言理由: 芝浦港南地区は公園整備や商業・業務施設の建設による植栽地整備により緑被率が増加していますが、他地区と比較すると緑被率が低い状況です。都心では自然と触れ合う機会も少ないことから、住民が年間を通して自然に触れ合うことのできる取組を提案します。また、駅前など中心部にはごみのポイ捨てが多いことから、マナーの徹底とともに地域の企業や住民などの多様な主体が美化活動に参加することで、美しいまち芝浦港南地区の実現に向けた取組を提案します。

地域の安全・安心に関する提言 16ページ

- ①災害時における情報コンテンツや情報伝達手段の認知度を向上させる
- ②企業等と連携し、災害時に助け合える体制をつくる
- ③楽しく気軽に防災の知識や備えについて学べる機会を充実させる
- ④運河沿いの治安面の改善や自転車利用者のマナーの向上に資する取組を検討する

提言理由: 芝浦港南地区では防災に関する取組が多いものの、防災に関する情報が住民に十分伝わっていない状況にあります。また、運河沿いの治安面やマナーに不安を感じる住民も多くいます。そこで、いかなる環境においても安心して暮らせるまちを目指し、情報伝達手段の認知度向上、防災知識向上の機会拡充、災害時の連携強化、運河沿いの治安向上に資する取組の拡充を提案します。

かがやくまち

- 水辺(海辺、運河など)
- 環境(緑化、清掃活動、路上喫煙など)
- 地域の安全・安心に関すること
(防災・防犯)

にぎわうまち

- 地域コミュニティ
(町会・自治会など)
- 地域の魅力(国際交流、歴史・文化、観光、産業など)

はぐくむまち

- 福祉(子ども、高齢者、障害者など)

地域コミュニティに関する提言 18ページ

- ①区有施設等で活動する様々なコミュニティをわかりやすく紹介する
- ②地域のイベント等について、多様な広報媒体を活用した積極的かつ効果的な情報発信を行う
- ③様々な人が気軽に交流できるような場を提供する

提言理由: 芝浦港南地区には、芝浦・海岸、港南、台場の3つの地域コミュニティがあり、ファミリー層が多いのが特徴です。一方で、地域の町会・自治会などの地域コミュニティは参加者の固定化・高齢化が見られ、ファミリー層を巻き込んだコミュニティ形成が十分に取れていないのが現状です。そこで、地域内交流促進に向け、地域のコミュニティに関する情報発信の手法を再検討し、誰もが参加しやすくなるような仕掛けの構築を提案します。

地域の魅力に関する提言 20ページ

- ①既存の地域資源を活用しつつ、新たな芝浦港南地区ならではの魅力を発掘し、内外に発信する
- ②企業や他自治体との連携を進めながら、芝浦港南地区の魅力を発信する

提言理由: 芝浦港南地区には歴史的に浅い地域ということもあり、文化的資源はあまり多くありません。台場地域の来訪者が他の地域には流れてこないという課題もあります。一方で、既存の文化・歴史・産業といった地域資源や、芝浦港南地区の魅力については地区内外に知られていません。そのことから、地の利や既存の地域資源を生かした魅力を地区内の企業等と連携し、効果的な発信方法の検討などを提案します。

福祉に関する提言 22ページ

- ①芝浦港南地区に将来も住み続けたいようになるように、子どもから高齢者まで多様な世代が交流できる場をつくる
- ②福祉に関する情報を「人」の体験を通して伝えるなど、情報発信の方法を再検討する

提言理由: 芝浦港南地区の人口は、今後もすべての世代で増加が続き、令和8年には64,147人となる見込みです。しかし、核家族化に伴い地域の支え合いや住民間の交流が少なくなっています。また、子育て支援は充実しているものの、支援制度を知らないなど情報の格差を感じます。芝浦港南地区に将来も住み続けたいようになるようまちの実現に向けて、従来の情報発信の在り方を見直すとともに、幅広い世代が交流できるような仕組みや交流の場づくりを提案します。

地区版計画 検討分科会 について



地区版計画検討分科会について

目的

「地区版計画検討分科会(以下、「分科会」という)」は、港区基本計画・芝浦港南地区版計画書(令和3年度～令和8年度)の策定に向け、幅広い世代の区民等の意見を反映した計画とするために設置された区民参画組織です。分科会メンバーは、公募による芝浦港南地区の在住者で構成されています。平成31年4月から活動を開始し、分科会メンバーが主体となって、地域の実情や課題、その解決の方策など意見を出し合い、検討結果を「提言書」としてまとめ、区に提出することを目的としています。

活動概要

分科会では、事業実績等の把握や、区内施設等の見学を通じて地域事業への理解を深めた上で、提言書の完成まで以下の概要で議論を積み上げてきました。

日程		内容
第1回	平成31年4月24日	オリエンテーション① ◆自己紹介 ◆港区基本計画・芝浦港南地区版計画書の概要について ◆地区版計画検討分科会の概要、検討する内容・進め方について ◆リーダー、サブリーダーの選出
第2回	令和元年5月22日	オリエンテーション② ◆芝浦港南地区総合支所が取り組む地域事業について ◆学習会及び今後の検討の進め方について ◆区民意識調査の概要について
学習会	令和元年6月23日	学習会 ◆芝浦港南地区内の地域資源の見学等
第3回	令和元年6月26日	『かがやくまち』(水辺、環境)の提言作成に向けたワークショップ
第4回	令和元年7月31日	『かがやくまち』(水辺、環境)の提言内容の検討
第5回	令和元年8月28日	『かがやくまち』(地域の安全・安心)、『にぎわうまち』(地域コミュニティ)の提言作成に向けたワークショップ、区民意識調査結果の中間報告
第6回	令和元年9月25日	『かがやくまち』(地域の安全・安心)、 『にぎわうまち』(地域コミュニティ)の提言内容の検討
第7回	令和元年10月30日	『にぎわうまち』(地域の魅力)、『はぐくむまち』(福祉)の提言作成に向けたワークショップ

日程		内容
第8回	令和元年11月27日	『にぎわうまち』(地域の魅力)、『はぐくむまち』(福祉)の提言内容の検討
第9回	令和元年12月25日	提言書案のまとめ ◆区民意識調査結果報告 ◆提言書案に関する検討 ◆提言書デザイン・構成案に関する検討
第10回	令和2年1月29日	提言書の最終確認 ◆提言書について ◆提言式(発表内容)について

メンバー構成

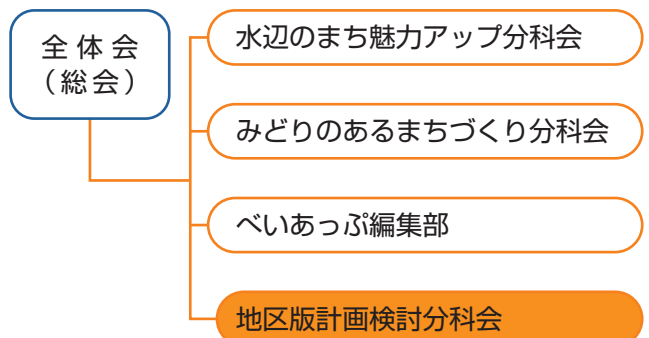
分科会は、芝浦港南地区総合支所が設置する区民参画組織「港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト」の中に設置されました。分科会のメンバーの14名は、芝浦港南地区内在住の18歳以上の方を対象にした無作為抽出方式による公募及び地区内在住・在勤・在学者を対象にした一般公募により募集した方々です。

地区版計画検討分科会メンバー (敬称略 五十音順)

相磯 有輝	杉田 洋一
諫山 弘高	中里 聖子
大橋 直	服部 香織
大本 裕一 サブリーダー	濱田 拓郎
金井 明 サブリーダー	山崎 歩 リーダー
鎌田 智之	横山 仁
菅野 英徳	横山 美千代

港区ベイエリア・ パワーアッププロジェクト組織図

〈港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト〉
地域の魅力をより一層高め、誰もが誇りに思えるまちの実現を目指し、地域の皆さんと総合支所と一緒に事業を企画・実施します。



※名簿への掲載は、分科会に複数回出席されたメンバーのみとしています。

提 言



水辺に関すること

Recommendation
提言

1

昼夜を問わず誰もが安心して散歩することのできる
運河沿いの遊歩道を実現する

2

運河の魅力を高め、
身近に感じてもらうイベントを実施する

提言
理由

芝浦港南地区は海辺や運河があり水辺環境に恵まれたまちですが、水辺に対して肯定的な印象があまり持たれていません。そのため、水辺の良さを再認識してもらうために、運河沿いの遊歩道を活用しながら、住民及び来訪者が運河を楽しみ、運河に親しみ、身近に感じてもらえるような取組を提案します。

芝浦港南地区の水辺について【現状認識】

- 芝浦港南地区には海辺や運河といった他地区にはない水辺資源があると住民には浸透している
- 一方で水辺資源に対して、住民には「きれい」「親しみやすい」という肯定的なイメージはまだあまり持たれていない
- 運河沿いの遊歩道は、夜間になると暗くて怖い印象がある

取組の【課題】

- 運河や海辺に対する魅力を高めるための取組については一定程度実施されているが、地域住民に対して取組自体が十分浸透しておらず、魅力についてもさらに高める必要がある
- 運河や海辺については、東京都が管理している状況があり、地区での取組には制限がある

関	連	す	る
現	行	の	
地	域	事	業



水辺のまち魅力アップ事業
(べいあつぷナイトウォーキング)



運河と海辺の活動推進
(中学生向け環境学習)



分科会メンバーの考える 「住みたいまちの姿」



- ① 水辺で気持ち良くとつろげるまち
- ② 運河のまわりに活気があり、自然と人が集まってくるまち
- ③ いろいろな渡り鳥を目にできる水辺があるまち
- ④ 夜でも安心して運河の遊歩道を歩けるまち
- ⑤ 運河が交通として気楽に活用できるまち



実現する方法の例

情報発信

- 芝浦港南地区の魅力を楽しめる発信ツールを充実させる
- 運河を身近に感じてもらうためにマップを作成する
- 既存事業の周知方法を充実させる

イベントの 実施

- 地域の人が運河を身近に感じ、楽しむことのできるイベントを実施する

空間づくり

- 運河沿いの遊歩道を活用(草木の手入れなど)し、運河を散歩したくなるような空間を演出する

1

自然を生かし、自然に触れ合える 継続性のある取組を実施する

2

地域の企業や住民などの多様な主体の参加を 一層促し、美化活動を推進する

提言
理由

芝浦港南地区は公園整備や商業・業務施設の建設による植栽地整備により緑被率が増加していますが、他地区と比較すると緑被率が低い状況です。都心では自然と触れ合う機会も少ないことから、住民が年間を通して自然に触れ合うことのできる取組を提案します。また、駅前など中心部にはごみのポイ捨てが多いことから、マナーの徹底とともに地域の企業や住民などの多様な主体が美化活動に参加することで、美しいまち芝浦港南地区の実現に向けた取組を提案します。

芝浦港南地区の環境について【現状認識】

- 芝浦港南地区には公園がたくさんあり、遊具や緑化など充実している
- 公園以外には花や樹木といった緑は少ない
- 集合住宅に居住する住民も多く、大人も子どもも土に触れる機会が少ない
- 駅周辺などの繁華街はごみなどが落ちていて、きれいな印象はあまり持たれていない

取組の【課題】

- 公園以外に緑を感じにくく、区が進めているアドプトプログラムもあまり住民には伝わっていない
- 自然に触れ合うイベントや取組はあまり多くない
- 美化活動は行われているが、参加者が固定化している

関	連	す	る
現	行	の	
地	域	事	業



みどりのあるまちづくり事業
(田植え体験)



みどりのあるまちづくり事業
(稲刈り体験)



分科会メンバーの考える 「住みたいまちの姿」



- ① 緑が多く四季の花を楽しめる公園があるまち
- ② 子どもが自然に触れることのできるまち
- ③ 身近にある自然を感じるまち
- ④ 景観の美しいまち
- ⑤ ごみが落ちていない・路上喫煙のないまち



実現する方法の例

イベントの 実施

- 都会にある自然について学ぶイベントを実施する
- 子どもや大人が四季を通じて自然に触れることのできるイベントを実施する
- 公園以外に花や緑を増やす取組を充実させる

ごみの ポイ捨てや 路上喫煙 対策

- 美化活動に地域の企業や住民などの多様な主体が参加できるよう工夫する
- ごみのポイ捨てや路上喫煙禁止のマナーに関する情報の周知を徹底する

1

災害時における情報コンテンツや情報伝達手段の認知度を向上させる

2

企業等と連携し、災害時に助け合える体制をつくる

3

楽しく気軽に防災の知識や備えについて学べる機会を充実させる

4

運河沿いの治安面の改善や自転車利用者のマナーの向上に資する取組を検討する

提言理由

芝浦港南地区では防災に関する取組が多いものの、防災に関する情報が住民に十分伝わっていない状況にあります。また、運河沿いの治安面やマナーに不安を感じる住民も多くいます。そこで、いかなる環境においても安心して暮らせるまちを目指し、情報伝達手段の認知度向上、防災知識向上の機会拡充、災害時の連携強化、運河沿いの治安向上に資する取組の拡充を提案します。

芝浦港南地区の安全・安心について【現状認識】

- 住民が地域の特性を理解し、災害発生時に取るべき行動をしっかりと理解している状態にない
- 地域防災力向上のためには、企業等と連携した取組が必要である
- 交通量が多い場所もあり、子どもの安全を心配する声が多く聞かれる
- 最近増えている自転車利用者のマナー向上などが必要である
- 運河沿いの夜道が暗いことなど、治安面で不安を感じる住民が多い

取組の【課題】

- 区が発信している避難場所等の防災に関する情報が住民に十分伝わっていない
- 防災に関する取組は多いが、区民の防災認識があまり高まっていない
- 運河沿いの治安向上に対する取組が十分ではない

関	連	す	る
現	行	の	
地	域	事	業



ベイエリア地域防災力向上事業
(小中学校等への防災教育)



ベイエリア地域防災力向上事業
(事業所向け防災対策の支援)



分科会メンバーの考える 「住みたいまちの姿」



- ① 災害時も安心して住めるまち
- ② 子どもも大人も安心して住める治安の良いまち



実現する方法の例

情報伝達の 充実

- 区が実施している既存事業や情報伝達ツールを区民に一層浸透させ、充実させる
- 災害のタイプに応じた対応方法など、最新の情報を提供する
- 企業と連携し、災害時に助け合える情報伝達の手法を構築する

イベントの 実施

- 地域での防災イベントなどを通じて、子どもも大人も参加できる啓発を行う

運河沿いの 治安向上

- 夜の治安を向上させるためのイベントや取組を充実させる
- 自転車マナーの向上を啓発する

地域コミュニティに関すること

Recommendation
提言

1

区有施設等で活動する様々な
コミュニティをわかりやすく紹介する

2

地域のイベント等について、多様な広報媒体を
活用した積極的かつ効果的な情報発信を行う

3

様々な人が気軽に交流できるような場を提供する

提言
理由

芝浦港南地区には、芝浦・海岸、港南、台場の3つの地域コミュニティがあり、ファミリー層が多いのが特徴です。一方で、地域の町会・自治会などの地域コミュニティは参加者の固定化・高齢化が見られ、ファミリー層を巻き込んだコミュニティ形成が十分に取れていないのが現状です。そこで、地域内交流促進に向け、地域のコミュニティに関する情報発信の手法を再検討し、誰もが参加したくなるような仕掛けの構築を提案します。

芝浦港南地区の地域コミュニティについて【現状認識】

- 大規模な再開発や高層マンションの建設で、地域におけるファミリー層が増加している
- 地域の町会・自治会において、多くの場合に参加者が固定化され、高齢化している
- 地域内での関わりが少ないほうが良いと考えている住民も一定数存在する

取組の【課題】

- 新しく移ってきた住民と昔から住んでいる住民との間にコミュニティを形成するための取組が十分に実施されていない
- 興味を持てるようなテーマに関するコミュニティの情報が少ない
- 地域のコミュニティについての情報が、興味のある人達にうまく伝わっていない

関	連	す	る
現	行	の	
地	域	事	業



水辺フェスタ
(地域対抗ボートレース)



みなとパーク芝浦ふれあい空間づくり
(みなとパーク芝浦フェスティバル)



分科会メンバーの考える 「住みたいまちの姿」



- ① 誰もが参加できるオープンなコミュニティのあるまち
- ② 住民同士の共助が実現されたコミュニティのあるまち
- ③ 多様で魅力的なコミュニティの情報が発信されるまち



実現する方法の例

情報伝達の 充実

- 周知方法をジャンル・対象者ごとに変えるなどの工夫をする
- 広報誌を見ない人への訴求方法を検討する
- 多様な周知方法を検討する

地域内の 交流促進

- 地域のお祭りを活用するなど、町会・自治会や地域コミュニティに参加したいと思えるようなイベントを企画する
- イベント参加者に対して一過性でなく、今後もつながりを持つための仕掛けを考える
- 様々な立場や興味を持った人が共通するテーマで集える場を設ける

交流の 場作り

- 外国人居住者を含めた交流の場として、スポーツなどを通じた交流活動を促進する

地域の魅力に関すること

Recommendation
提言

1

既存の地域資源を活用しつつ、新たな芝浦港南地区ならではの魅力を発掘し、内外に発信する

2

企業や他自治体との連携を進めながら、芝浦港南地区の魅力を発信する

提言理由

芝浦港南地区には歴史的に浅い地域ということもあり、文化的資源はあまり多くありません。台場地域の来訪者が他の地域には流れてこないという課題もあります。一方で、既存の文化・歴史・産業といった地域資源や、芝浦港南地区の魅力については地区内外に知られていません。そのことから、地の利や既存の地域資源を生かした魅力を地区内の企業等と連携し、効果的な発信方法の検討などを提案します。

芝浦港南地区の地域の魅力について【現状認識】

- 芝浦港南という地域は埋立地で歴史が浅いため、**文化的資源は他地域と比較して少ない**
- 芝浦港南地区における既存のさまざまな歴史や文化、産業といった地域資源について、**地域内外に十分に伝わっていない**
- 台場地域には来訪者がいるが、**芝浦・海岸・港南地域には流れてこない**
- 港南地域を筆頭に芝浦港南地区には**多くの企業が存在する**

取組の【課題】

- 知生(ちい)き人養成プロジェクトの**修了生の活動の場が少ない**
- 台場地域に来る観光客を芝浦・海岸・港南地域に呼び込む**取組はない**
- 外国人居住者間で課題等が共有できる「**交流の場**」がなく、**しっかりと情報が伝わっていないと思われる**
- **地域間交流に関する事業が子ども中心となっていて、地域も年齢も限定的である**

関	連	す	る
現	行	の	
地	域	事	業



知生(ちい)き人養成プロジェクト
(水辺に関する講座)



地域がつなぐ全国連携
(秋田県にかほ市との交流)



分科会メンバーの考える 「住みたいまちの姿」



- ① 多種多様な人々が気軽に交流でき、活躍の場を持てるまち
- ② 地域の資源が活かされた魅力あふれるまち
- ③ 地域内外の人々と連携がとれているまち



実現する方法の例

魅力の 発信

- 芝浦港南地区の隠れた観光スポットや地域の人がおススメする場所など多様な手法で発信をする
- 品川駅港南口など人の集まりやすい場所がある地の利を生かして情報発信し、地域への誘客をすすめる
- 東京2020大会後もその価値を活かして、お台場や地域の魅力を引き継いだレガシーを発信する

地域内外 との連携

- 多様な世代が参加できる地域間交流イベントを開催する
- 地域の企業と連携交流しながら地域の魅力を発信する
- 地元の大学や高校、中学校、小学校との連携をより推進する

1

芝浦港南地区に将来も住み続けたいくなるように、子どもから高齢者まで多様な世代が交流できる場をつくる

2

福祉に関する情報を「人」の体験を通して伝えるなど、情報発信の方法を再検討する

提言理由

芝浦港南地区の人口は、今後もすべての世代で増加が続き、令和8年には64,147人となる見込みです。しかし、核家族化に伴い地域の支え合いや住民間の交流が少なくなっています。また、子育て支援は充実しているものの、支援制度を知らないなど情報の格差を感じます。芝浦港南地区に将来も住み続けたいくなるようなまちの実現に向けて、従来の情報発信の在り方を見直すとともに、幅広い世代が交流できるような仕組みや交流の場づくりを提案します。

芝浦港南地区の福祉について【現状認識】

- 核家族化が進んでおり、従来からあるコミュニティを中心とした地域内の支え合いや交流は失われつつある
- 新しく移ってくる住民の増加でファミリー層のみならず高齢者の人口も増加している
- 将来的には行政のみならず、地域全体で支え合うことが求められている

取組の【課題】

- 区の子育て支援は充実しているが、そうした制度があることを知らない人がいる
- 支援や補助金に関する情報の周知が不十分で情報格差がある
- 世代別のイベントや交流は充実しているが、世代間の交流を促進する取組はあまりない

関	連	す	る
現	行	の	
地	域	事	業



子育てあんしんプロジェクト
(育児相談)



子育てあんしんプロジェクト
(交流の場)



分科会メンバーの考える 「住みたいまちの姿」



- ① 健康で楽しそうな人が多く、将来も住み続けたいくなるまち
- ② 誰もが同じように福祉に関する情報を得られるまち
- ③ 住民同士の顔の見える関係があるまち
- ④ 同じ世代や同じ興味を持った住民が交流しあえるまち
- ⑤ 世代間の異なる住民や共通の興味を持った住民が交流を図れる場があるまち



実現する方法の例

住民間の 交流促進

- 子どもから高齢者まで一緒に楽しめるイベントを実施する
- 母親のみならず父親向けの交流の場を充実させる
- 同じ世代や同じ興味を持った住民が情報の共有や交換をしやすい環境を作る

情報発信の 充実

- 港区の多様な広報媒体を活用し、周知方法をジャンル・対象者ごとに変えるなど工夫する
- 「文字」以外に「人」の実体験を、人から人に伝える機会を設ける

資料編



1. 地区版計画検討分科会 検討資料

提言書作成に向けた意見の整理【水辺に関すること】

テーマ 水辺（海辺、運河など）

目指すべき姿

- ・水辺で気持ちよくくつろげるまち
- ・運河のまわりに活気があり、自然と人が集まってくるまち
- ・いろいろな渡り鳥を目にできる水辺があるまち
- ・夜でも安心して運河の遊歩道を歩けるまち
- ・運河が交通として気楽に活用できるまち

取組に関する意見

海辺・運河

- ・運河沿いの緑化を進める
- ・台場の海を活用する

利活用

- ・水辺の雰囲気を整理してエリアで統一する

現状と課題

運河・海辺

- ・運河沿いの歩道が散歩によく、のんびりできる
- ・運河があるのでオープンな雰囲気、景色がいい
- ・海岸（お台場）の雰囲気が好き
- ・水辺は多いが「きれいな水辺」のイメージはなく触りたくない
- ・水辺がもっときれいだったら、他人にすすめやすい
- ・水辺はあるが、親近感はない（台場を除く）

利活用

- ・運河沿いの遊歩道は歩く以外に利用されていない
- ・運河沿いの遊歩道は整備されているところとされていないところがある
- ・整備されていない水辺はあまり行きたい場所ではない
- ・運河があって、橋がないところは不便

提言書作成に向けた意見の整理 【環境に関すること】

テーマ 環境（緑化、清掃活動、路上喫煙など）

目指すべき姿

- ・ 緑が多く四季の花を楽しめる公園があるまち
- ・ 子どもが自然と戯れることのできるまち
- ・ 身近にある自然に気付く・気付やすいまち
- ・ 緑が多く景観の美しいまち
- ・ ごみが落ちていないまち
- ・ 路上喫煙のないまち

取組に関する意見

- | | |
|--------------|--|
| 公園・自然 | <ul style="list-style-type: none">・ じゃぶじゃぶ池のような、水遊びができる公園の利用期間を長くする・ 水辺を活かした植物（菖蒲、蓮）を育てる |
| 美化 | <ul style="list-style-type: none">・ 田んぼと畑の二毛作をする・ アドプト区間を畑として利用する・ 美化活動をもっと広めていく・ CSRの一環として企業とコラボした美化活動を進める |

現状と課題

- | | |
|--------------|--|
| 公園・自然 | <ul style="list-style-type: none">・ 全体的に緑が少ない・ 公園以外の緑はあまり感じにくい・ アドプトの取組が分かりにくい・ マンション居住者が多く、土いじりや水遊びなど自然に接する機会が少ない・ 緑が多く四季の花を楽しめる公園を増やしてほしい・ 身近にある自然に気付くきっかけがない |
| 美化 | <ul style="list-style-type: none">・ 駅前のごみが多いときがある |

提言書作成に向けた意見の整理 【地域の安全・安心に関すること】

テーマ 地域の安全・安心（防災、防犯）

目指すべき姿

- ・災害時も安心して住めるまち
- ・治安が良いまち
- ・子どもが安心して住めるまち

取組に関する意見

- 防災**
- ・災害時の対応に関する表示を増やす
 - ・災害時の対応に関する掲示方法、見せ方を工夫する
 - ・区民に対して防災知識の更新を行う
 - ・助けてもらうという意識から、自助・共助についての知識を与える
 - ・防災について親子一緒に学ぶ機会を与える（親子向け防災講座等）
 - ・現状の地域事業を継続して実施する

- 生活安全**
- ・自転車の交通ルールの普及啓発
 - ・芝地区の「ご近所ラボ」のような活動の展開
 - ・現状の事業（安全安心な地域の実現に向けた取組等）を継続して実施する

現状と課題

- 防災**
- ・災害時の移動手段、避難場所などを把握していない
 - ・災害時どのような対応をすればよいのか不安
 - ・防災に関する区民の認知度が低い
 - ・洪水や液状化、橋の耐久性が心配

- 生活安全**
- ・運河沿いを歩くのが怖い（夜道、ヒアリなど）
 - ・広い歩道や狭い歩道など、歩道の差が激しい
 - ・交通量が多いため、子どもの安全が心配
 - ・外国人観光客増加に伴い、オーバーツーリズムによる交通渋滞が不安

提言書作成に向けた意見の整理【地域コミュニティに関すること】

テーマ 地域コミュニティ（町会・自治会など）

目指すべき姿

- ・誰もが参加できるオープンなコミュニティのあるまち
- ・共助が実現されたコミュニティのあるまち
- ・参加したいと思えるような魅力ある情報の発信がされるまち

取組に関する意見

- | | |
|-------------|--|
| 地域交流 | <ul style="list-style-type: none">・地域コミュニティに参加したいと思えるようなイベントを企画する・地域のお祭りを活用する・イベント参加者に対して一過性でなく、今後もつながりを持つための工夫が必要・何か共通のテーマで集える場を設ける |
| 情報発信 | <ul style="list-style-type: none">・周知方法をジャンル・対象者ごとに変えるなど工夫が必要・広報誌を見ない人には、宛名付きの郵送物で送るのが有効的・港区のSNS（ツイッター等）を活用した周知方法の検討・まちが好きになるような情報を発信する |

現状と課題

- | | |
|-------------|--|
| 地域交流 | <ul style="list-style-type: none">・地域住民と知り合う機会が少ない・地域にどのようなコミュニティがあるのかわからない・ママ友のような男性子育て世代のコミュニティの場がない・趣味などで集える場所がない・地域内の関わりが無い方がいいと思っている住民も一定数いる・新旧住民間でコミュニティがうまく形成されていない・町会・自治会の参加者の固定化及び高齢化 |
| 情報発信 | <ul style="list-style-type: none">・コミュニティに参加したい人たちに上手に情報が伝わっていない・参加したいコミュニティやイベントの選択肢が少ない |

提言書作成に向けた意見の整理【地域の魅力に関すること】

テーマ 地域の魅力（国際交流、歴史・文化、観光、産業など）

目指すべき姿

- ・多種多様な人々が気軽に交流でき、活躍の場を持てるまち
- ・地域の資源を活かした魅力あふれるまち
- ・地域内外の人々と連携がとれているまち

取組に関する意見

魅力・発信

- ・知生き人養成プロジェクトの修了生が活動する場づくりをする
- ・芝浦港南地区の新しい文化・歴史を開発、発見する
- ・芝浦港南地区の名物や観光スポットについてのガイドブックづくりなどで地域の魅力を今まで以上に伝える
- ・外国人居住者との交流の場を設ける
- ・港区スポーツセンターは外国人利用者が多いので、スポーツを通じた交流活動を企画する
- ・東京 2020 大会をきっかけにお台場の海の魅力を発信してみる
- ・お台場や品川がある地の利を活かした誘客を試みる

連携

- ・地元企業との連携を推進する
- ・地域発展を踏まえた新しいコンテンツと、古くからのコンテンツを連携させ、新たな魅力を創り上げる

現状と課題

魅力・発信

- ・知生き人養成プロジェクトの修了生の活動の場が少ない
- ・芝浦港南という地域の歴史が浅いため、文化的資源が他地域と比較して少ない
- ・既存の地域資源についても、地域内外に十分に伝わっていない
- ・外国人居住者間で課題等が共有できる「交流の場」がない
- ・外国人にとって安心安全な暮らしが保証されているか疑問
- ・台場地区には来訪者がいるが、芝浦港南地区には流れてこない

連携

- ・連携している地域事業の対象や世代が限定的で、エリア規模も狭い
- ・大人の交流の場がない。区や地方の特産品の販売を物産展のようなかたちで実施できると良い
- ・港区の特徴を活かして、小樽のような湾岸地域とのつながりを生み出せないか

提言書作成に向けた意見の整理 【福祉に関すること】

テーマ 福祉（子ども、高齢者、障害者など）

目指すべき姿

- ・健康で楽しそうな人が多いまち
- ・これからも自分がここに住み続けるというイメージができるまち
- ・誰もが同じように福祉に関する情報を得られるまち
- ・顔の見える関係があるまち
- ・同じ境遇（コミュニティ、世代など）にあるような人たちが交流しあえるまち
- ・世代に関係なく友達がたくさんできるまち
- ・世代間交流が実現できているまち
- ・共通の個性を持った人々が交流を図れる場があるまち

取組に関する意見

- 生活・支援等** ・芝地区の「芝の家」のような拠点や子ども食堂を開設し、子育て支援や世代間交流といった複合的な施策を講じる
- 交流等** ・同世代間でメーリングリストを共有し、情報交換を促す
・イベントなどで異なる分野のブースなどを設けて、自由に交流できる仕掛けをする
・子どもから高齢者まで一緒に楽しめる講座・教室の開設をする
・高齢者が気軽に参加できるイベントを企画する

現状と課題

- 生活・支援等** ・港区は子育て支援が充実しているが、そうした制度があることを知らない人がいる
・支援や補助金に関する情報の周知が不十分で情報格差があるように感じる
- 交流等** ・多様な世代が一緒になって活動する場がなく、活発な世代間交流がなされている雰囲気を感じない

2. 令和元年度 港区基本計画・芝浦港南地区版計画書に関する区民意識調査報告書

(1) 調査の目的と概要

① 調査の背景と目的

区は、区民により身近な場所で、多様な区民のニーズを把握し、責任を持って地域の実情を踏まえた施策を展開していくため、平成18年4月、「区役所・支所改革」により、芝、麻布、赤坂、高輪、芝浦港南の各総合支所を設置しました。

区は、平成27年3月に、「区役所・支所改革」や社会経済情勢の変化を踏まえ、区の行財政運営を推進する際の指針となる最上位計画である「港区基本計画（2015年度～2020年度）」を策定しました。

港区基本計画は、全区的な計画である「分野別計画」と総合支所別の「地区版計画書」から構成されており、芝浦港南地区の「芝浦港南地区版計画書」では、地区の将来像を「快適で温かみのある運河と海辺の未来都市・港区ベイエリア」と掲げ、その実現に向け、地域の魅力をより高め、地域の課題や特性に応じて芝浦港南地区総合支所が独自に取り組むべき「地域事業」を計上しています。

「芝浦港南地区版計画書」は、6年間を計画期間としており、令和2年度に新たに計画を策定する予定です。

② 調査の実施概要

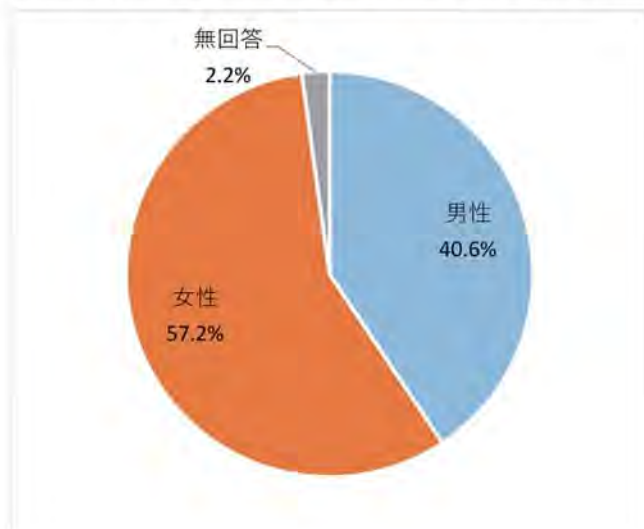
- 【調査対象】 令和元年6月現在に港区芝浦港南地区に住民登録をしている満20歳以上の方のうち、住民基本台帳から無作為で抽出した1500名を対象とした。
- 【調査方法】 アンケート形式による調査 郵送配布・回収
- 【調査期間】 令和元年6月21日（金）～7月12日（金）
- 【発送数】 1500件（日本人1404 外国人96）
- 【有効発送数】 1485件
- 【有効回収数】 411通
- 【回収率】 27.7%

③ 調査項目概要

- ご自身について
- 芝浦港南地区の事業について
- 地域の魅力や課題について
- 芝浦港南地区総合支所について
- 芝浦港南地区版計画書について
- ご近所づきあい、地域活動について
- 自由記述

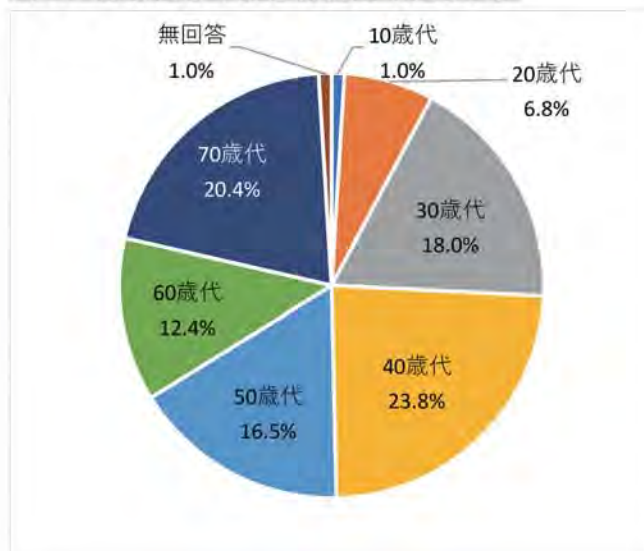
(2) 調査結果

問1. あなたの性別についてお答えください。



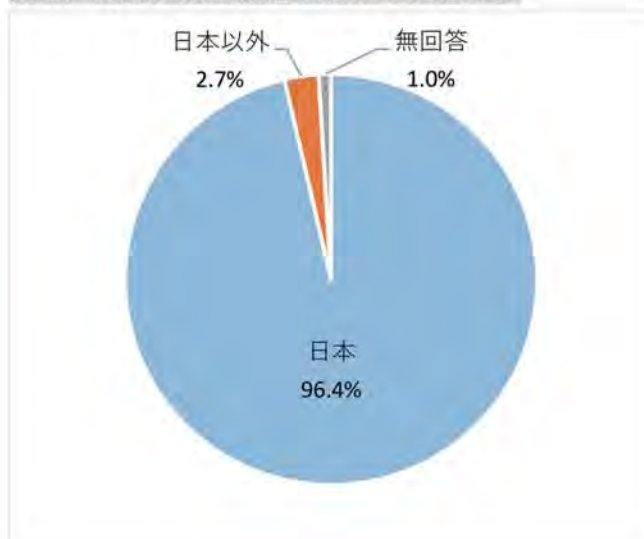
	件数	割合
男性	167	40.6%
女性	235	57.2%
無回答	9	2.2%
合計	411	100.0%

問2. あなたの年齢をお答えください。



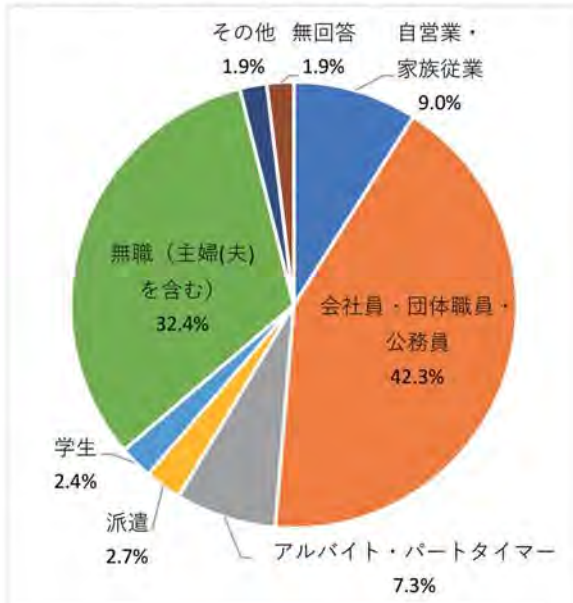
	件数	割合
10歳代	4	1.0%
20歳代	28	6.8%
30歳代	74	18.0%
40歳代	98	23.8%
50歳代	68	16.5%
60歳代	51	12.4%
70歳代	84	20.4%
無回答	4	1.0%
合計	411	100.0%

問3. あなたの国籍をお答えください。



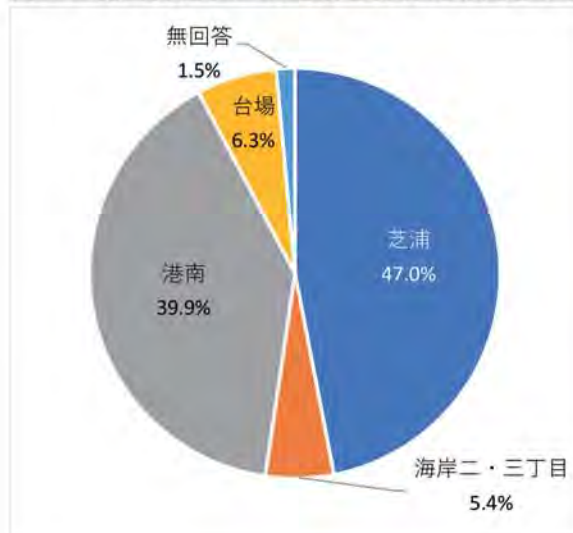
	件数	割合
日本	396	96.4%
日本以外	11	2.7%
無回答	4	1.0%
合計	411	100.0%

問4. 職業についてお答えください。



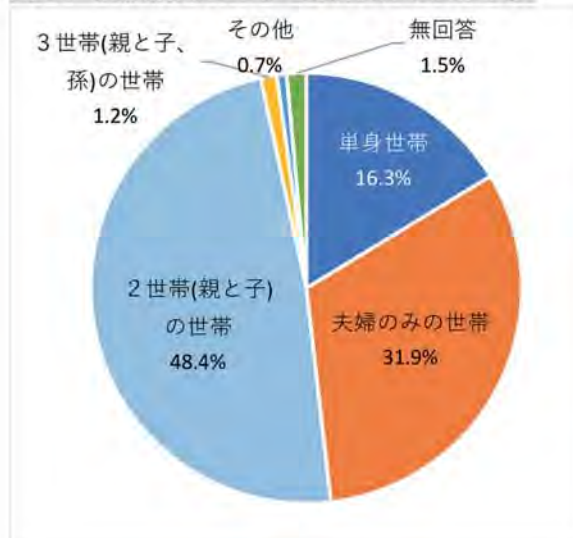
	件数	割合
自営業・家族従業	37	9.0%
会社員・団体職員・公務員	174	42.3%
アルバイト・パートタイマー	30	7.3%
派遣	11	2.7%
学生	10	2.4%
無職（主婦(夫)を含む)	133	32.4%
その他	8	1.9%
無回答	8	1.9%
合計	411	100.0%

問5. 現在お住まいの地域をお答えください。



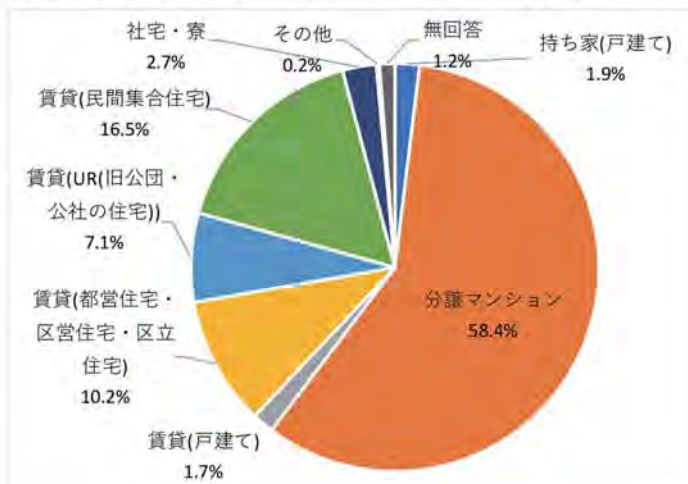
	件数	割合
芝浦	193	47.0%
海岸二・三丁目	22	5.4%
港南	164	39.9%
台場	26	6.3%
無回答	6	1.5%
合計	411	100.0%

問6. 家族構成についてお答えください。



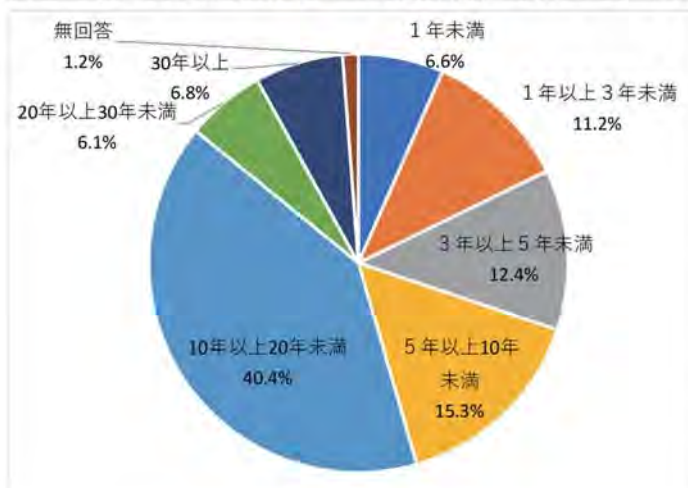
	件数	割合
単身世帯	67	16.3%
夫婦のみの世帯	131	31.9%
2世帯(親と子)の世帯	199	48.4%
3世帯(親と子、孫)の世帯	5	1.2%
その他	3	0.7%
無回答	6	1.5%
合計	411	100.0%

問7. 現在のお住まいについてお答えください。



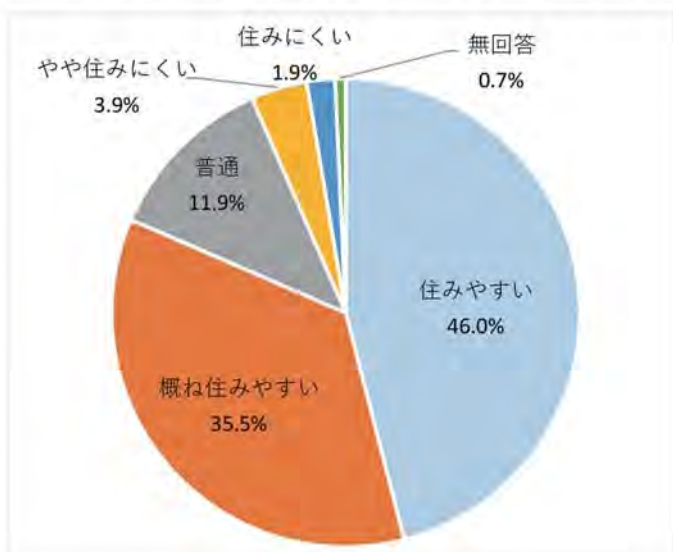
	件数	割合
持ち家(戸建て)	8	1.9%
分譲マンション	240	58.4%
賃貸(戸建て)	7	1.7%
賃貸(都営住宅・区営住宅・区立住宅)	42	10.2%
賃貸(UR(旧公団・公社の住宅))	29	7.1%
賃貸(民間集合住宅)	68	16.5%
社宅・寮	11	2.7%
その他	1	0.2%
無回答	5	1.2%
合計	411	100.0%

問8. 現在の芝浦港南地区への通算居住年数についてお答えください。



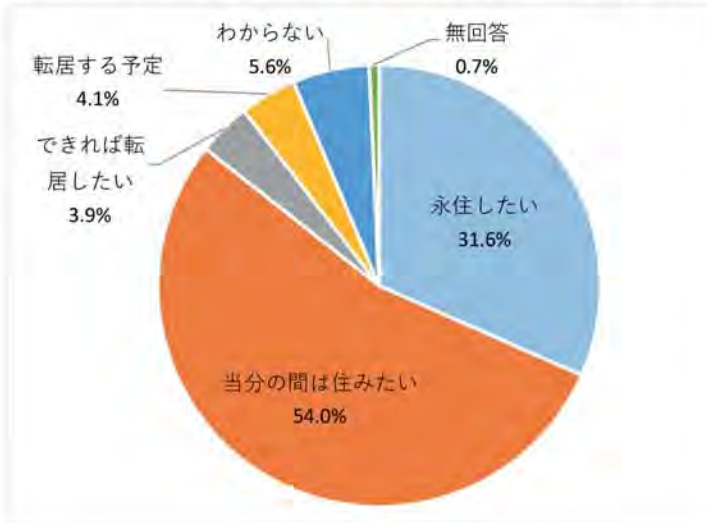
	件数	割合
1年未満	27	6.6%
1年以上3年未満	46	11.2%
3年以上5年未満	51	12.4%
5年以上10年未満	63	15.3%
10年以上20年未満	166	40.4%
20年以上30年未満	25	6.1%
30年以上	28	6.8%
無回答	5	1.2%
合計	411	100.0%

問9. 芝浦港南地区の住みやすさについてどのようにお考えですか。



	件数	割合
住みやすい	189	46.0%
概ね住みやすい	146	35.5%
普通	49	11.9%
やや住みにくい	16	3.9%
住みにくい	8	1.9%
無回答	3	0.7%
合計	411	100.0%

問 10. 今後の定住意向についてどのようにお考えですか。

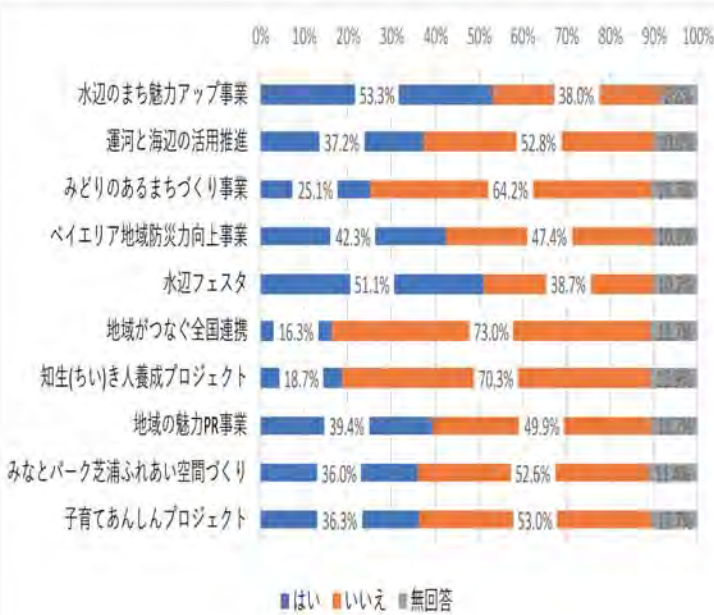


	件数	割合
永住したい	130	31.6%
当分の間は住みたい	222	54.0%
できれば転居したい	16	3.9%
転居する予定	17	4.1%
わからない	23	5.6%
無回答	3	0.7%
合計	411	100.0%

問 11. 芝浦港南地区の地域事業について

◆知名度

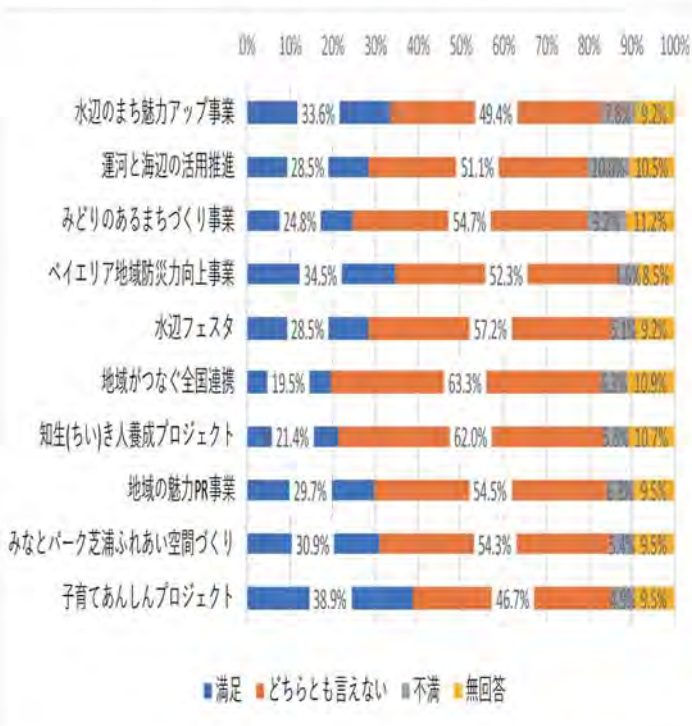
水辺のまち魅力アップ事業の知名度が最も高く 53.3%、次いで水辺フェスタ 51.1%である。一方で、地域がつなぐ全国連携、知生(ちい)き人養成プロジェクトの知名度が低い。



	はい	いいえ	無回答	合計
水辺のまち魅力アップ事業	219	156	36	411
運河と海辺の活用推進	153	217	41	411
みどりのあるまちづくり事業	103	264	44	411
ベイエリア地域防災力向上事業	174	195	42	411
水辺フェスタ	210	159	42	411
地域がつなぐ全国連携	67	300	44	411
知生(ちい)き人養成プロジェクト	77	289	45	411
地域の魅力PR事業	162	205	44	411
みなとパーク芝浦ふれあい空間づくり	148	216	47	411
子育てあんしんプロジェクト	149	218	44	411

◆満足度

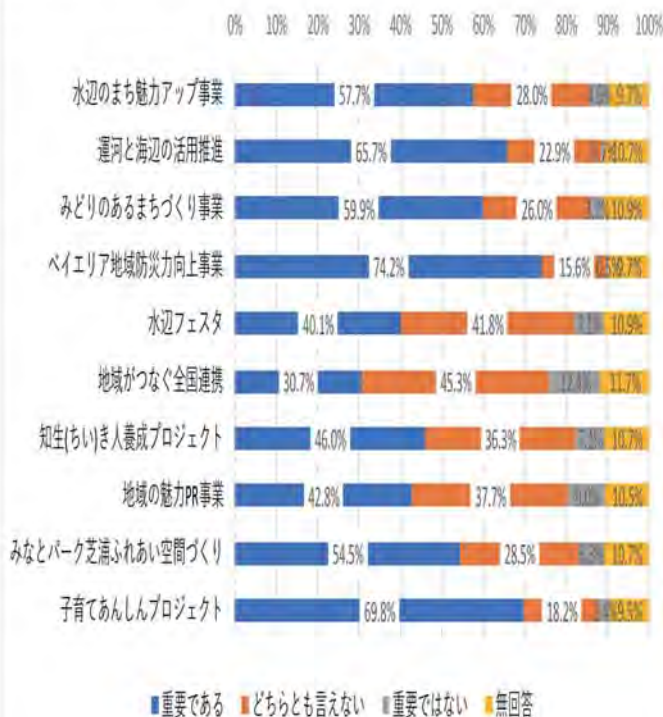
全体的な傾向として、現状の取組に対する満足度は「どちらとも言えない」という意見が過半数を占めており、「不満」と感じている意見は1割以下と少数である。



	満足	どちらとも言えない	不満	無回答	合計
水辺のまち魅力アップ事業	138	203	32	38	411
	33.6%	49.4%	7.8%	9.2%	
運河と海辺の活用推進	117	210	41	43	411
	28.5%	51.1%	10.0%	10.5%	
みどりのあるまちづくり事業	102	225	38	46	411
	24.8%	54.7%	9.2%	11.2%	
ベイエリア地域防災力向上事業	142	215	19	35	411
	34.5%	52.3%	4.6%	8.5%	
水辺フェスタ	117	235	21	38	411
	28.5%	57.2%	5.1%	9.2%	
地域がつなぐ全国連携	80	260	26	45	411
	19.5%	63.3%	6.3%	10.9%	
知生(ちい)き人養成プロジェクト	88	255	24	44	411
	21.4%	62.0%	5.8%	10.7%	
地域の魅力PR事業	122	224	26	39	411
	29.7%	54.5%	6.3%	9.5%	
みなとパーク芝浦ふれあい空間づくり	127	223	22	39	411
	30.9%	54.3%	5.4%	9.5%	
子育てあんしんプロジェクト	160	192	20	39	411
	38.9%	46.7%	4.9%	9.5%	

◆重要度

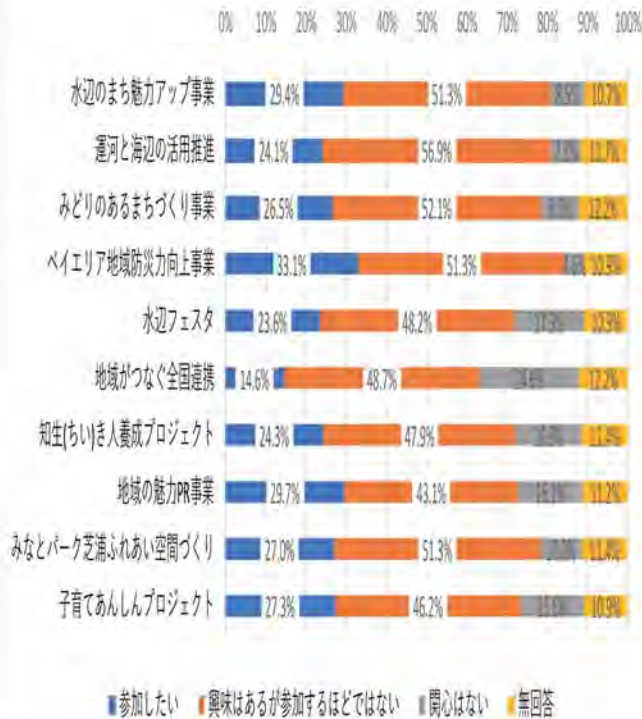
ベイエリア地域防災力向上事業に関する重要度が74.2%と最も高く、次いで子育てあんしんプロジェクト69.8%である。一方、地域がつなぐ全国連携の重要度は最も低く30.7%である。



	重要	どちらとも言えない	重要ではない	無回答	合計
水辺のまち魅力アップ事業	237	115	19	40	411
	57.7%	28.0%	4.6%	9.7%	
運河と海辺の活用推進	270	94	3	44	411
	65.7%	22.9%	0.7%	10.7%	
みどりのあるまちづくり事業	246	107	13	45	411
	59.9%	26.0%	3.2%	10.9%	
ベイエリア地域防災力向上事業	305	64	2	40	411
	74.2%	15.6%	0.5%	9.7%	
水辺フェスタ	165	172	29	45	411
	40.1%	41.8%	7.1%	10.9%	
地域がつなぐ全国連携	126	186	51	48	411
	30.7%	45.3%	12.4%	11.7%	
知生(ちい)き人養成プロジェクト	189	149	29	44	411
	46.0%	36.3%	7.1%	10.7%	
地域の魅力PR事業	176	155	37	43	411
	42.8%	37.7%	9.0%	10.5%	
みなとパーク芝浦ふれあい空間づくり	224	117	26	44	411
	54.5%	28.5%	6.3%	10.7%	
子育てあんしんプロジェクト	287	75	10	39	411
	69.8%	18.2%	2.4%	9.5%	

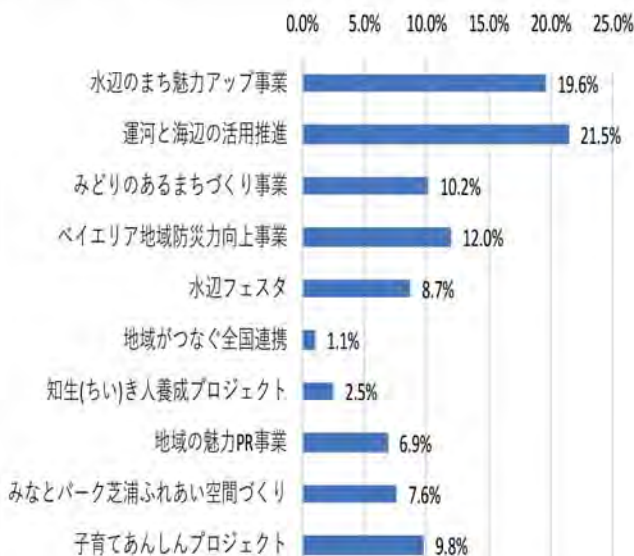
◆参加意欲

全地域事業において「興味はあるが参加するほどではない」という意見が半数を占めている。その中でも特に参加意欲が高い取組は、ベイエリア地域防災力向上事業(33.1%)である。一方、参加意欲が最も低い取組は、地域がつなぐ全国連携(24.6%)である。



	参加したい	興味はあるが参加するほどではない	関心はない	無回答	合計
水辺のまち魅力アップ事業	121	211	35	44	411
	29.4%	51.3%	8.5%	10.7%	
運河と海辺の活用推進	99	234	30	48	411
	24.1%	56.9%	7.3%	11.7%	
みどりのあるまちづくり事業	109	214	38	50	411
	26.5%	52.1%	9.2%	12.2%	
ベイエリア地域防災力向上事業	136	211	19	45	411
	33.1%	51.3%	4.6%	10.9%	
水辺フェスタ	97	198	71	45	411
	23.6%	48.2%	17.3%	10.9%	
地域がつなぐ全国連携	60	200	101	50	411
	14.6%	48.7%	24.6%	12.2%	
知生(ちい)き人養成プロジェクト	100	197	67	47	411
	24.3%	47.9%	16.3%	11.4%	
地域の魅力PR事業	122	177	66	46	411
	29.7%	43.1%	16.1%	11.2%	
みなとパーク芝浦ふれあい空間づくり	111	211	42	47	411
	27.0%	51.3%	10.2%	11.4%	
子育てあんしんプロジェクト	112	190	64	45	411
	27.3%	46.2%	15.6%	10.9%	

問 12. 芝浦港南地区総合支所が独自に取り組む事業（地域事業）に対する意見がありましたら、自由にご提案ください。



	件数	割合
水辺のまち魅力アップ事業	54	19.6%
運河と海辺の活用推進	59	21.5%
みどりのあるまちづくり事業	28	10.2%
ベイエリア地域防災力向上事業	33	12.0%
水辺フェスタ	24	8.7%
地域がつなぐ全国連携	3	1.1%
知生(ちい)き人養成プロジェクト	7	2.5%
地域の魅力PR事業	19	6.9%
みなとパーク芝浦ふれあい空間づくり	21	7.6%
子育てあんしんプロジェクト	27	9.8%
合計	275	100.0%

◆意見のまとめ

地域事業	意見
水辺のまち魅力アップ事業	雨の日の後は、運河のにおいが気になる。水質改善にもっと力を入れてほしい。
	10年前の運河と比べるととてもきれいになった。
	水辺・運河・みどりなど自然に係る地域事業に関しては、総合的な事業としてまとめてはどうか。
	子どもから大人まで、区民全体を巻き込んで取り組むべき極めて重要な事業である。
運河と海辺の活用推進	水質改善は、東京 2020 大会のためだけでなく、中長期的な目標の設定と進捗のフォローを行ってほしい。
	他団体との連携を促進し、水辺の良さを水上からアピールしてはどうか。
	親子で参加できる行事を多く開催してほしい。
	水辺の立地を生かし、シンガポールのマリーナ地区のような水辺の活用を積極的に仕掛けて行ってほしい。
みどりのあるまちづくり事業	田植え経験は地域事業というよりは教育事業ではないか。緑被率の状況がなぜ田植え経験という事業の根拠につながるのかわからない。
	子どもを通じて親も学ぶことができるイベントを実施してほしい。
	運河沿いの緑地のマナーが悪い（ごみの散乱、吸い殻）。
ベイエリア地域防災力向上事業	行政がどんな防災事業を行っているのか見えてこないため、既存の取組強化と情報発信の強化が必要だ。
	マンションへの対象とした取組が多く感じられる。戸建て住民に対しても防災に関する周知を徹底してほしい。
	ベイエリアならではの課題や対策を知る機会を増やしても良いと思う。
	地域の自助、共助に関する情報発信・意識向上に向けての対策を一考いただきたい。
水辺フェスタ	大変関心のある事業ではあるが、他の地域事業と統合し、無駄のないような予算組成、適正な予算執行を行ってはいかがでしょうか。
	水辺の地区であること（他の地区ではできない）を特色として活動されていて良い。
	毎年楽しんで参加させてもらっています。近所の方々と一緒に参加できて、このようなイベントがあるおかげで家族ぐるみのお付き合いができるようになりました。
地域がつなぐ全国連携	日常生活で実感することはない。
知生(ちい)き人養成プロジェクト	大人だけでなく、中高生の学びの場になるような子どもも対象とした事業にしてはどうか。
	地域資源を活かすことができるので、良い事業だと思う。
地域の魅力 PR 事業	PR 不足だと思う。地域に密着した店舗などに協力してもらおうなど、PR の手法を再検討していただきたい。
	どのような PR なのかがあまりわからない。
	新駅開発もあり、芝浦地区の魅力を総合的に向上する施策が必要である。街の魅力やグローバルなゲート（空港、新幹線、リニア）に近いことの利便性をもっと伝えては。
みなとパーク芝浦ふれあい空間づくり	高齢者が気軽に立ち寄って趣味などを通し交流ができる場になってほしい。
	子育て世帯、高齢者世帯に偏重している。衡平性を重視してほしい。
	個人の写真展や絵画展に貸し出しの出来るフリースペースがあったら良いのでは。
	世帯間交流ができるような、老若男女が一同に参加出来る行事があれ良い。
子育てあんしんプロジェクト	事業そのものが認知されておらず、孤立して子育てをされている方がまだ多い。さらなる情報発信を行い、サービスの利用拡大を期待する。
	開催時間・日数を増やしてほしい（土日・休日開催など）。
	現行のプロジェクトの内容を見直す時期ではないか。
	この事業を知ったとき、転入してよかったと思えた。今後も推進して行ってほしい。

問 13. お住まいの地域にとって課題とお考えになっていること、またお困りになっていること、または必要性が高いとお考えの取組は何ですか。(複数回答)



	件数	割合
防災・防犯などの地域の安全安心	101	24.6%
地域交通	90	21.9%
商店街・産業の活性化	88	21.4%
まち・環境の美化	82	20.0%
子ども施策	69	16.8%
環境保全・緑化	53	12.9%
高齢者施策	50	12.2%
バリアフリー	48	11.7%
都市の再開発やまちづくり	47	11.4%
生涯学習・スポーツ	45	10.9%
国際化・国際交流	34	8.3%
健康づくり・保健	29	7.1%
地域コミュニティづくり	26	6.3%
観光施策	16	3.9%
障害者施策	16	3.9%
歴史・文化	12	2.9%
その他	17	4.1%
回答者数	411	100.0%

◆意見のまとめ

テーマ	意見
地域コミュニティづくり	区内は移住者が多いためか、自治に対する意識が低いと感じる。
	新たなオフィスビル、マンションや居住者が増えている中、企業や住民が共存しているという意識を持って、地域を盛り上げていきたい。
	何かあった時にお互いが支え合えるような、コミュニティづくりが必要だ。
防災・防犯などの地域の安全安心	普段からそこまで近所付き合いが盛んでもない中、災害の時、本当に助け合えるのか。
	地域の詳しい防災・防犯マップを作成し、発災時にどうすれば良いのか、どこにいてもわかるように告知したほうが良いと思う。
	昼間は人口が多いが、夜間、土曜日、日曜日、祝日は人口が少ないので不安である。
	外国人や国内観光客が多く、防犯の観点で十分な対策が取られているとは言い難い。国際的なまちの防犯を参考にして考え直して頂きたい。
	品川駅港南口は夜になると治安が悪く感じる。
まち・環境の美化	外国からのお客さんが多いためか、ポイ捨てが多く見られる。
	常緑樹を街全体に植えることで、年中緑があり、まちの雰囲気良くなるのではないか。
地域交通	水上タクシーをもっと身近なものにしてほしい。
	自転車の返却がきちんとされておらず、返却場所周辺に乗り捨てられている。自転車マナーを強化してほしい。
	運河沿いの遊歩道は行き止まりや入れない入口が多いので、水辺を最大限活かせるように、歩道の整備をしてほしい。

バリアフリー	歩道橋は車いす利用者や高齢者に負担である。歩道橋が無くても良い交差点にしていきたい。
	駅周辺におけるバリアフリーの更なる進展が必要である。
環境保全・緑化	緑が少なく感じる。緑化に注力すべきである。
	新しいビルやホテルが次々と建てられ、ビルの谷間に住んでいる印象がある。心がなごむような空間がほしい。
	美しいごみの無いまちづくりを期待する。
	使い捨て容器が毎日大量に消費されている。リユースできる容器が日常生活で使いやすくなる環境を整備する必要がある。
都市の再開発やまちづくり	新駅設立の目的や建物の仕組みなど、学生も含めた住民向けのワークショップを開いてはどうか。
	運河を活用したまちづくりをすべきである。
	サラリーマンやファミリー層がまちの大半のため、将来の多様性が気がかりである。
商店街・産業の活性化	昔からある商店がなくなりつつある。残っているところも活気がない。区民の利用に特典をつけるなど、工夫してみてもどうか。
	地域が“温かさ”を感じるまちでありたい。
国際化・国際交流	海外から来ている人達にもっと日本の文化や民間交流をする機会を増やして欲しい。
	言葉の「壁」は、体験から…。外国の方々への呼び掛け“機会”をつくられたらいいか。
観光施策	地元住民が「観光客をおもてなしする」というマインドをもっともてるようになると良いと思う。
	港区の歴史をもっと身近に（ゲーム感覚で）学べるような機会を設けられないか。
	天王洲におけるイベント開催など努力は見られるが、魅力ある場所にも関わらずイベントの無い日は閑散としている。もっとPRが必要である。
	東京タワーやお台場が近いので、もっと魅力を発信してほしい。
歴史・文化	港南地区は人口も増加しているので、ホールを作って演劇や音楽会等上演して文化の向上を図って頂きたい。
	新しい地域であるだけに日本の伝統文化の活動の余地や必要性がある。特に子どもが触れる機会を増やしてほしい。
高齢者施策	具体的にどのような施策があるのか知りたい。
	子どもの施策はよく耳にするが、高齢者の施策は立ち遅れているように思う。
子ども施策	日系二世や帰国子女、外国人が通い易い保育所を設けてほしい。港区としてさらに外国人の世帯が入り易い（住み易い）環境をつくってはどうか。
	子どもを持つ母親が安心して働ける環境づくりが重要である。
	住民の中で時間がある人には子育てサポーターとして登録をもらうなど、親が不在の際に子どもたちが支援を受けられるような取り組みを講じてはどうか。
障害者施策	障害者の居場所がない。病院以外で相談できる場があればいい。
	障害者の子どもを持つ親に向けて勉強会を開催してほしい。
健康づくり・保健	健診の制度化には満足している。今後も必要性の高い施策だと思う。
	ラクっちゃのプログラムに希望者が多く、抽選に当たらない。
生涯学習・スポーツ	運動できる場所が少ないように思う。気軽に運動できる屋外の空間を拡充してほしい。
	芝浦ばかり充実していて、港南地区は不便。様々な講座・イベントも港南地区は少ないため、港南地区の利便性を上げてほしい。
その他	無料で日本語が学べる機会を設けてほしい。そうすることで、地域の住民とそこに住む外国人の壁が小さくなる。

問 14. あなたが住んでいる芝浦港南地区には、どのような魅力があると思いますか。(複数回答)

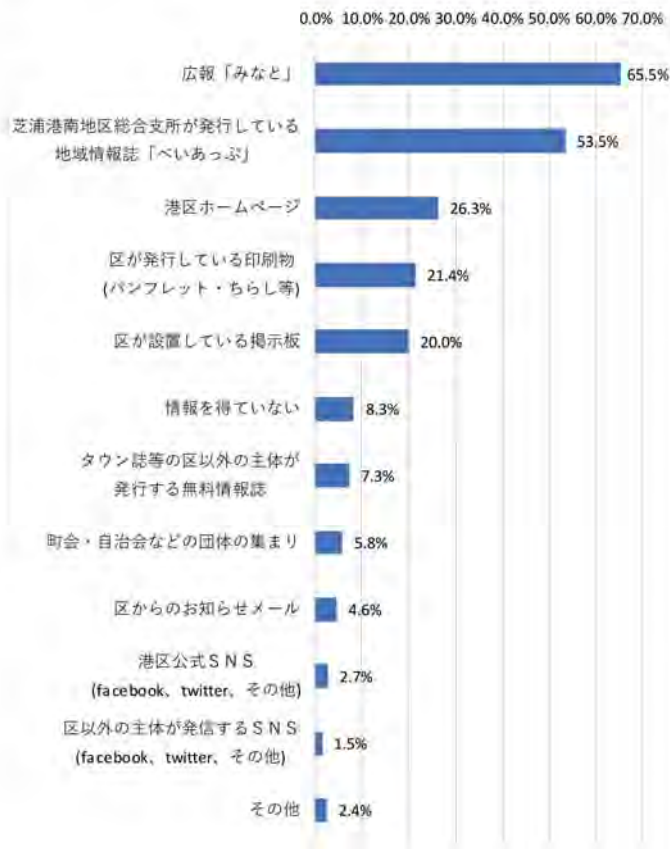


	件数	割合
水辺環境 (運河、海) が豊かなこと	264	64.2%
鉄道やバスなどの交通機関が便利なこと	257	62.5%
道路・公園などが整っていること	180	43.8%
街並みが美しいこと	90	21.9%
多数の事業所が集積していること	34	8.3%
観光資源や観光スポットが豊富なこと	28	6.8%
歴史や文化に恵まれていること	15	3.6%
その他	24	5.8%
特になし	12	2.9%
回答者数	411	100.0%

問 15. 問 14 の魅力を高めていくために、今後どのような取組が必要だと考えますか。

テーマ	意見
環境・緑化	運河周辺に日本的な植物や花を植え、花壇増やすなど、まち全体が緑豊かになるような取組が必要である。
	道路や公園についてはきれいな方だが、統一感がない。統一感がないと雑多な印象を受ける。常緑樹をまち全体に植えてはどうか。
	運河の街としてもっと街並みを美しくしてほしい。
	「ベイエリア」の環境は、他に類を見ない申し分のない魅力一杯のエリアだと思う。今後も現状を維持・充実させていただきたい。
水辺の活用	水辺で住民が楽しめるイベント等の機会を増やす。
	運河を利用したマリンスポーツなどのアクティビティを充実させてはどうか。
	水辺環境を活用すべく、地域一体となってまちづくりをしていく必要がある。
公園の整備	小学生が遊べる場所を増やしてほしい。
	公園などの遊び場は幼児向けの施設が多いため、年齢を問わず子どもがもっと遊べる空間を充実させてほしい。
連携・交流	地元の企業と連携し、多くの人にまちの良さをアピールできるような場を設ける。
	イベント等を通じ、外国人居住者との交流の場を設ける。
	新・旧の間で「地域」の見方・価値観に温度差があるため、地域住民の関心・興味を共有することが出来れば「地域ぐるみ」での交流が促進されるのではないか。
	イベントを開催する場合、一過性ではなく、集まった人が継続的にキャッチアップできる仕組みを構築すべきである。
観光	交通事情がよいにもかかわらず、単なる通過地点となっているように感じる。集客力のあるものを設置して思わず訪れたいくなるような仕掛けをつくってはどうか。
福祉	高齢化に対応するためにバリアフリーを広めていくべき。
情報発信	情報発信の手法を再検討するべき。
	既存の地域事業の認知度を高め、維持することで、より魅力のアップが期待できる。

問 16. あなたは、区や芝浦港南地区総合支所からの情報を何から得ていますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。



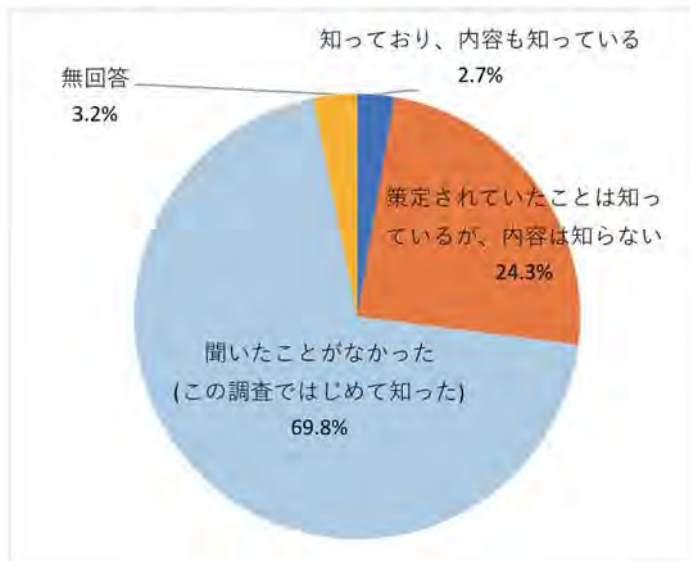
	件数	割合
広報「みなと」	269	65.5%
芝浦港南地区総合支所が発行している地域情報誌「べいあっぷ」	220	53.5%
港区ホームページ	108	26.3%
区が発行している印刷物(パンフレット・ちらし等)	88	21.4%
区が設置している掲示板	82	20.0%
情報を得ていない	34	8.3%
タウン誌等の区以外の主体が発行する無料情報誌	30	7.3%
町会・自治会などの団体の集まり	24	5.8%
区からのお知らせメール	19	4.6%
港区公式SNS (facebook、twitter、その他)	11	2.7%
区以外の主体が発信するSNS (facebook、twitter、その他)	6	1.5%
その他	10	2.4%
回答者数	411	100.0%

問 17. 今後、区や芝浦港南地区総合支所が情報を発信する上で、さらに充実させた方が良いと思うもの、または積極的に活用した方が良いと思うものは何ですか。(複数回答)



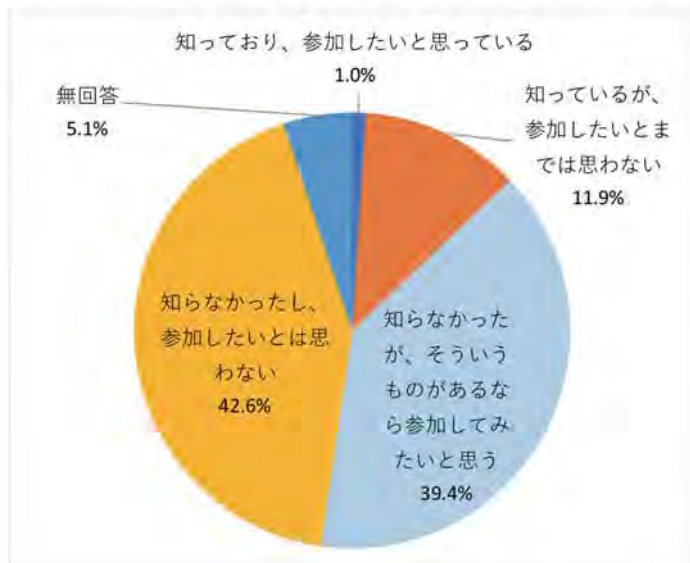
	件数	割合
広報「みなと」	163	39.7%
港区ホームページ	127	30.9%
芝浦港南地区総合支所が発行している地域情報誌「べいあっぷ」	111	27.0%
港区公式SNS (facebook、twitter、その他)	90	21.9%
区が発行している印刷物(パンフレット・ちらし等)	70	17.0%
区からのお知らせメール	53	12.9%
タウン誌等の区以外の主体が発行する無料情報誌	52	12.7%
区が設置している掲示板	45	10.9%
区以外の主体が発信するSNS (facebook、twitter、その他)	30	7.3%
町会・自治会などの団体の集まり	19	4.6%
その他	17	4.1%
回答者数	411	100.0%

問 18. 港区は、平成 26 年度に「芝浦港南地区版計画書（2015 年度～2020 年度）」を策定しています。あなたは芝浦港南地区版計画書を知っていますか。



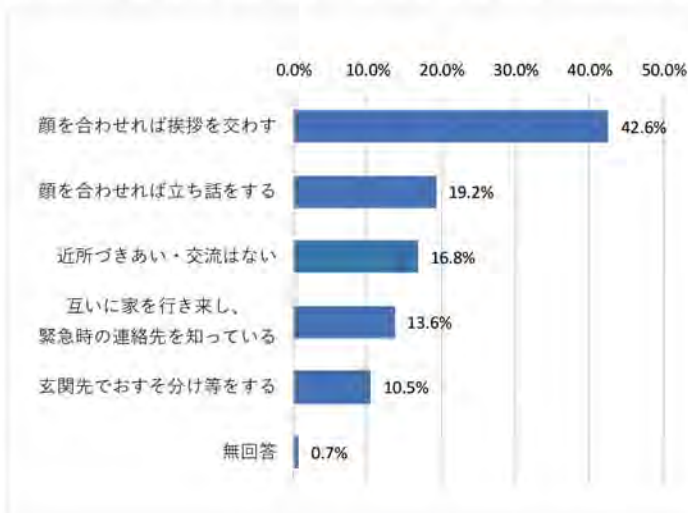
	件数	割合
知っており、内容も知っている	11	2.7%
策定されていたことは知っているが、内容は知らない	100	24.3%
聞いたことがなかった(この調査ではじめて知った)	287	69.8%
無回答	13	3.2%
合計	411	100.0%

問 19. 芝浦港南地区版計画書の策定や見直しの際に、港区に住み、働き、学ぶ皆さんが主体となって、意見を出し合い、区に提言を行う区民参画組織として「港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト 地区版計画検討分科会」が設置されることを知っていますか。



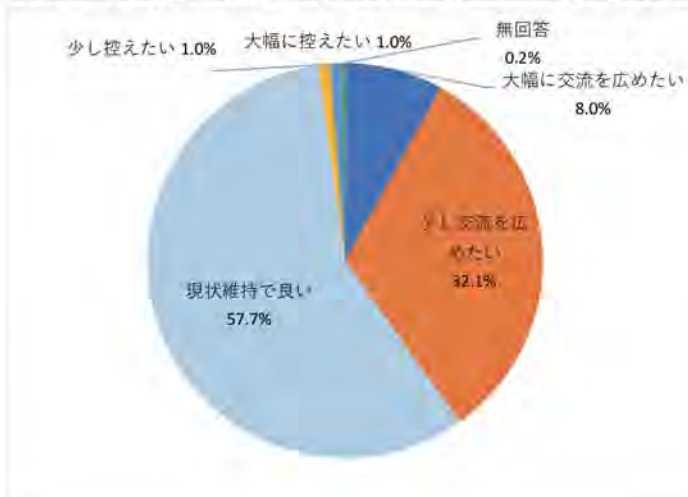
	件数	割合
知っており、参加したいと思っている	4	1.0%
知っているが、参加したいとは思わない	49	11.9%
知らなかったが、そういうものがあるなら参加してみたいと思う	162	39.4%
知らなかったし、参加したいとは思わない	175	42.6%
無回答	21	5.1%
合計	411	100.0%

問 20. ご近所づきあいで、もっとも付き合いの深い方との関係はどれですか。



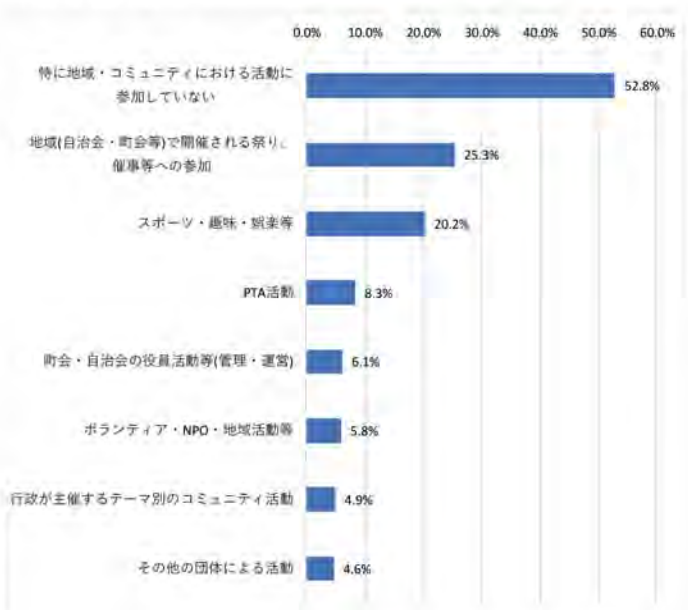
	件数	割合
互いに家を行き来し、緊急時の連絡先を知っている	56	13.6%
玄関先でおすそ分け等をする	43	10.5%
顔を合わせれば立ち話をする	79	19.2%
顔を合わせれば挨拶を交わす	175	42.6%
近所づきあい・交流はない	69	16.8%
無回答	3	0.7%
回答者数	411	100.0%

問 21. 今後、近所の住民との関わりについて、どのようにしたいですか。



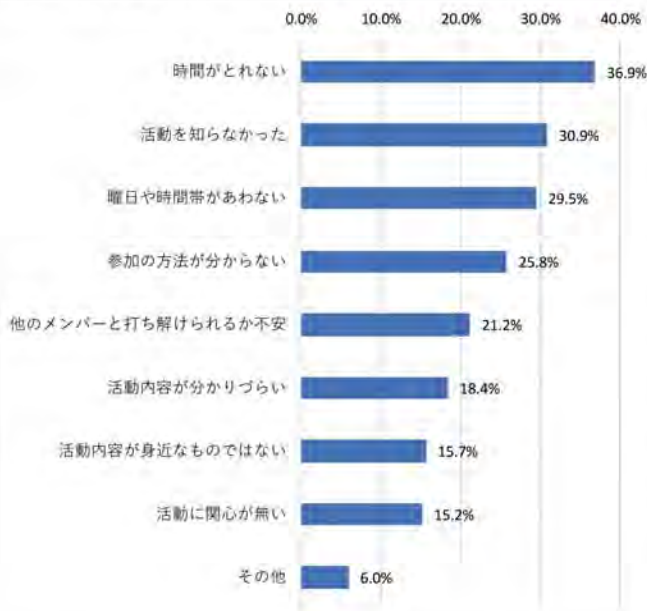
	件数	割合
大幅に交流を広めたい	33	8.0%
少し交流を広めたい	132	32.1%
現状維持で良い	237	57.7%
少し控えたい	4	1.0%
大幅に控えたい	4	1.0%
無回答	1	0.2%
合計	411	100.0%

問 22. 地域・コミュニティにおける活動のうち、参加している活動について、当てはまるもの全てに○をつけてください。



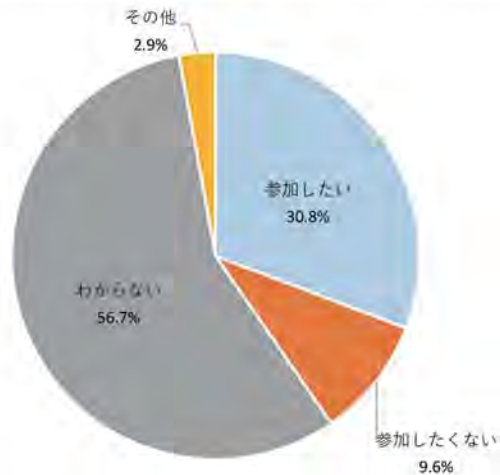
	件数	割合
特に地域・コミュニティにおける活動に参加していない	217	52.8%
地域(自治会・町会等)で開催される祭り、催事等への参加	104	25.3%
スポーツ・趣味・娯楽等	83	20.2%
PTA活動	34	8.3%
町会・自治会の役員活動等(管理・運営)	25	6.1%
ボランティア・NPO・地域活動等	24	5.8%
行政が主催するテーマ別のコミュニティ活動	20	4.9%
その他の団体による活動	19	4.6%
回答者数	411	100.0%

問 23. 問 22 で、「8. 特に地域・コミュニティにおける活動に参加していない」とお答えになった方にお聞きします。その理由はどのようなものですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。



	件数	割合
時間がとれない	80	36.9%
活動を知らなかった	67	30.9%
曜日や時間帯があわない	64	29.5%
参加の方法が分からない	56	25.8%
他のメンバーと打ち解けられるか不安	46	21.2%
活動内容が分かりづらい	40	18.4%
活動内容が身近なものではない	34	15.7%
活動に関心が無い	33	15.2%
その他	13	6.0%
回答者数	217	100.0%

問 24. 問 23 の理由・問題が解消された場合、地域・コミュニティにおける活動に参加したいと思われますか。



	件数	割合
参加したい	64	30.8%
参加したくない	20	9.6%
わからない	118	56.7%
その他	6	2.9%
合計	208	100.0%

◆自由記述欄

テーマ	自由記入意見
地域事業	費用対効果に疑問感じる事業が多々ある。イベントとしては有意義だが費用をかけすぎていると感じる。もっと区民の意見を反映していただきたい。
	街に魅力があるからこそ、これだけ人口が増えているのでは。「地域の魅力 PR 事業」等に力を入れるよりも、防災や環境の美化、区立の保育園増設など、区民にとって重要な事業に力を入れて頂きたい。
	高齢者や子育て世帯中心のイベントが多く、初めての人が参加しにくいような内容に感じる。
	施策の目的、コンセプトとほど遠い事業があるように感じる。
	少子高齢化を踏まえて、地域の声をもっと聞くべきである。 おもしろそう、楽しそう、行ってみたいと思われるような取組やイベントを考えていただきたい。
広報	SNS を使うなど、広報に工夫がほしい。駅にポスターを掲示するなど、自然と目に入るところに掲示を出してほしい。
公園	小学生の子どもが安心して遊べる場が少ない。
子育て	芝浦、港南、台場は子育て世帯が多く住みやすいが、保育園が適性に準備されていない。みんなが保育園入れるような仕組みを講じれば少子化問題も克服できるのでは。
	「子どもが安全な街 港区芝浦港南」を目指して取り組んでいただきたい。
コミュニティ	子ども会があっても良いのでは。
	大人や親子向けにスポーツ・趣味などの集まりなどがあると良い。
	現状、街については大変満足している。少しドライなコミュニティ（ご近所づきあいを求められないところ）は心地よい。あまり、昔ながらの日本の良さの様なものにとられず、多様性を認める柔軟な街であってほしい。
商業系施設	港南地区にスーパー、ドラッグストア、カフェなど、他の町ではあたり前に多くある施設が少ないように感じる。高輪ゲートウェイ駅の新設に伴い、商業施設を誘致してほしい。
道路環境	タワーマンション建設に伴う人口増加に道路の整備が追い付いていない。子育て中の身としては、朝夕の保育園送迎するとき、サラリーマンが道を占拠しているので、時々危険を感じる。歩道を分けるなど、安全対策を講じていただきたい。
美化・環境	まちなかの散乱ごみや、運河の水質（におい）などの対策を進めてほしい。
防犯	地震や津波への対策について具体的に考える機会があると良い。水辺の地域なので常に不安がある。
まちづくり	港南地区を新しい型の商業地域として集客力・活力のあるまちとして開発してほしい。
国際	一年を通じて国際的な地域間交流ができるようなイベント・ふれあいの場を増やしてほしい。
アンケートの内容	アンケートはオンラインでの回答をできるようにしてほしい。

港区基本計画・芝浦港南地区版計画書
策定に向けた提言書

令和2年3月発行

発行・編集 港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト
地区版計画検討分科会

